

## 保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人 福角会
施設名	事業所内保育所 きらきらキッズ
報告者（役職）	吉井 義貴（主任保育士）
住所・連絡先	愛媛県松山市福角町甲1285番地1
	☎ 089（995）8528
	E-mail kirakira@hukuzumikai.com

○タイトル（保育計画）

はじめてのヒミツ基地

○主な助成備品

パーテーション型遊具

### 1. 保育計画策定の目的

当園は平成28年度に、愛媛県初の3企業合同での共同運営による保育所型事業所内保育所として二階建て建物の二階に開園しました。建物一階には児童発達支援センターくるみ園・同二階には放課後等デイサービスみらいを含む合築の事業所です。

当園は0,1歳児クラスと1,2歳児クラスの2クラス編成で運営しています。すべてつながった空間にクラスを分ける既製の壁や仕切りは無く、ロッカー等で間仕切りをして園児数や活動に応じた組み合わせを工夫して保育にあたってきました。そういった環境の中で遊びのコーナーの設置や、初めて保護者と離れて過ごす乳児にとって安心できる「ヒミツ基地」のような居場所作り、特につかまり立ちの乳児にとって安全且つ保育者の目の届くパーテーションがあるとより良い環境構成ができると考え、今回の応募に至りました。

### 2. 具体的な実施内容

パーテーションは主にほふく室と乳児の生活スペースの間仕切りとして設置しました。様々なパーツで何通りもの組み合わせが出来るパーテーションでしたので、間仕切りに必要な幅に合わせて危険の無いように設置をしました。登園時に保護者と離れ泣いている子どもも、保育士に抱かれパーテーションの向こうのほふく室へ入ると少しずつ泣き止み、気持ちを切り替えることが出来ています。パーテーションによって区切られたスペースが子どもたちにとって安心できる空間になっているようです。

また、組み合わせることのできるパーツであるベンチと絵本棚は、パーテーションとは別で1,2歳児クラスで使用しています。

### 3. その成果と評価

#### 0, 1歳児クラス



つかまり立ちやつかまり歩きの子どもにとって、ちょうど良い高さのパーテーションが歩行をし始めるきっかけになっています。



遊びや活動ごとの間仕切りとしてパーテーションが活躍し、集中して遊びを楽しんでいます。また、パーテーション越しに他の活動の様子を眺めて「あっち するー」と子どもが選択し、楽しむ姿も見られています。今後もパーテーションの組み合わせを工夫して、見立てあそびの舞台や安心できる空間となるよう活用していきたいです。



パーテーションと組み合わせて設置した棚は、乳児が玩具を出し入れして扱うのに丁度良い高さです。自分で玩具を選んで遊んだり、片付けが出来たりすることを喜ぶ姿が見られています。

### 1, 2歳児



木製特有のぬくもりのあるベンチや絵本棚のコーナーで、友だちと絵本を見ながらやりとりを楽しむ姿が見られています。ほっと安心できる空間で子どもたちの会話も弾んでいます。



パーテーションに取り付けられる木製ハンドルのパーツは子どもたちに大人気です。手首を動かしながら回すと回しながら「ジュースやさん」「バスごっこ」など、イメージを膨らませて遊びを楽しんでいます。

#### 4. 今後の課題と展望

各年各季節によって入園する子どもたちの園児数・発達度合、それに対応した生活や活動は変わり、子どもたちが充実した保育園の一日を過ごすための環境作りは、常に私たち保育者の取り組むべき課題のひとつだと考えます。

今回寄付していただいた立派なパーテーションですが、設置を今の状態に拘らず様々なパターンでの活用を考え工夫していくとともに、今後も「子どもたちに安心・安全な環境、雰囲気ってこうじゃない?」「どうやったらもっと毎日を楽しめるかな?」と子どもたちのための環境作りを保育者一同探りながら、毎日の保育に携わっていきたいと思います。

このたびは、子どもも大人も安心できる素敵な「ヒミツ基地」を本当にありがとうございました。大切に使用させていただきます。



以上